

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	障害者支援施設白鷹陽光学園	受審(実施)年度 (※)	平成28 年度	施設番号	41-0057
-----	---------------	-----------------	------------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成 28年度)	改善計画 (平成 28 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成29年4月30日時点)
「新しい支援員が早く支援になじむために色々な教育を実践することを期待します」	<p>① 新人、異動職員にそれぞれ個別にプリセプターをつけ、指導をしていたが</p> <p>② プリセプター側に指導のばらつきが見られた。</p>	<p>① 数名のプリセプター係を設置し、組織化していくことで、指導の統一性を図り、新人、異動者の理解力を確認し、定期的な振り返りを実施していく。</p> <p>② 支援が難しい利用者に対しては、映像化し、具体的なイメージを持てるよう指導し、支援の工夫を導いていけるよう取り組んでいく。</p>	<p>① 実施済み①について</p> <p>② 実施予定(平成29年 9月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>②について</p> <p>・プリセプター係が場面を撮影し、映像からのリスクや支援方法を検討していく</p>
「利用者の地域でのさらなる就労 開拓が期待されます」 について	<p>就労希望利用者とハローワークに出向き、本人の希望と本人にあった就労先を探しているが、本人の障害特性に合った就労先がなかなか見つからない状況である。</p>	<p>ハローワーク以外で、新たに地元の企業や農家などに就労先を見出していく。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>② 実施予定(平成 29年 7月以降) 具体的には以下のとおりです。</p> <p>地元の農家で、ミニトマトなどの収穫 作業 に取り組めるよう働きかける。</p>
「利用者の状況が重度化・高齢化が進行している中、さらなる日々活動の充実を図り自立した生活が送れるように工夫した取り組みに期待します」について	<p>・日中の作業活動は、重度化、高齢化した内容に取り組み支援の強化を図っている。また、定期的な作業療法士にリハビリ指導を受けている。</p> <p>・年間を通して園外活動や作業慰労会や個別誕生会など実施している。</p> <p>・重度の利用者や身体障害者の方を優先的に、RH陽だまりの隣の一戸建て住宅「たんぼぼ」を利用し、昼食を挟み、施設とは違う家庭的な雰囲気を楽しむ機会を味わっていただくよう取り組んでいる。</p>	<p>日々の余暇時間に個別の取り組みが難しく、担当として積極的支援が図れない</p> <p>ご利用者のために、グループで余暇時間の活動の充実をはかれるよう、定期的な楽しめる活動や外出を設定していく。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>② 実施予定(平成29年 5月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>月1回午後の時間(3~4時間)を設定し、支援員も利用者もゆったりした時間の中で、グループでの外出や活動が楽しめるよう毎月の予定に組み入れていく。</p>